

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書 (提出日 R7年 4月 1日)

事業所名	定期巡回ステーション コピーヌ
事業所の種類	定期巡回随時対応型訪問介護看護
開催日時	令和7年3月27日(木) 10:00~10:45
開催場所	有料老人ホーム コピーヌ なかま
参加者	<p>中間市役所介護保険課：栗田様 新中間病院：片岡聖様、 一般社団法人クレイン：代表理事；中村永俊、理事；岩根久嗣 定期巡回ステーション コピーヌ：磯田沙也香、長尾望、安部田優子、日谷真里、末永真知子</p>
利用者状況	<p>事業対象者：10人 要介護1：2人、要介護2：2人、要介護3：1人、要介護4：3人、要介護5：2人</p>
平均年齢	<p>男性：96.7歳、女性：85.6歳 全体：88.9歳</p>
研修実施状況	<p>R6年10月25日 人権研修 R6年11月25日 苦情処理に関する研修 R7年1月7日 高齢者虐待防止研修</p>
配布資料	別紙

会議内容	1. 利用状況、活動報告、事例紹介（別添資料参照） 2. ご意見、ご質問 別紙参照
次回開催予定	R7年8月 開催場所：有料老人ホーム コピーヌなかま

<p>【会議内容】</p> <p>ご意見・ご質問</p> <p>（中間市介護保険課 栗田様）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月で事業所開設1年が経過。訪問看護なしで介入のかたでも、介護職員・看護職員で相談できることは、一体型の利点だと思う。夏に向けて、利用者様の体調管理をお願いしたい。また、法人内に定期巡回と有料老人ホームがあることは利点だと思う。次年度以降もよろしくお願ひします。 ・サービスを行う上で困ったこと、課題はあるか。 <p>（定期巡回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービス開始直後は訪問時にお会いできなかったり、不在のこともあり、安否確認ができないことも多かった。警察へ捜索依頼をすることもあり、どこまで介入をしてよいか難しい。 ・ご家族よりも距離感が近くなり、様々な依頼を受けることも多くなっている。 ・同居家族の支援依頼を受けることがある。 <p>（代表理事 中村）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診拒否をご家族が理解されていても、他のご家族から意見があるかもしれない。 <p>（中間市介護保険課 栗田様）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援経過等の記録にしっかり残してもらうようお願ひします。ご家族が納得されないかもしれないが、きちんと説明できれば問題ない。 <p>（新中間病院 片岡様）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本人の意思がしっかりある際は強制はできないため、受診拒否のある利用者様は難しい事例だと思う。入院中のかたも、退院後は自宅での生活を希望されるかたが多いので、今後、定期巡回につなぐことができるとよい。 <p>（理事 岩根）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設入所しか選択がなかった利用者様が、定期巡回を利用することで在宅の生活を延ばすことができている。生活の全体像も見えやすい。関わりを続けていくなかで、訪問回数や訪問内容に関するポイントがつかめてきているのではないか。 ・広報活動を続けてください。
